



# みかん

## 剪定

3月は気温の上昇とともに春芽が動き始めます。生育の手助けができるよう剪定や春肥の施用をいしましょう。

### 《品種更新・改植》

30年生を超えた老齢樹や高接後15年経過した樹は生産力が低下しているため、若返りを図り改植を進めましょう。苗木は乾燥に弱いので、①根を乾かさず②植え付け後充分なかん水を行います。

### 《剪定》

近年、園地内でも樹毎で着果のバラツキが増えています。同じ園地内でも樹の状態に応じた剪定を行いましょう。剪定を行うことにより、作業性の向上や日照時間の確保、薬剤散布をしやすくします。幼木については、不必要と思われる枝を間引き、収量増加に向けた樹冠拡大に努

めます。成木については、立ち枝や逆行枝、被さり枝の剪除や古くなった側枝の更新をしてください。

効率の良い剪定のためには園地や樹毎に優先順位をつけ、先に表年が予想される樹を剪定してしまってください。表年の樹は「早く、強く」、裏年の樹には「遅く、弱く」を基本にして、効率良く作業を進めましょう。

### 《春肥》

春肥は、新芽の充実や幼果の肥大に影響を与えます。3月中旬頃の施用ですが、早い時期だと根の養分吸収率が低いため流れてしまい、遅い時期だと新芽の充実や幼果の発育に養分が行き渡らず、樹勢の低下を招いてしまいます。また、春草は除草し、施肥後の吸収効率を高めるた

めに、中耕を行ってください。

### 3月中旬

- ・ 早生ミカン 柑配6号4袋
- ・ 青島ミカン 柑配4号5袋

### 《病害虫防除》

1月にカイガラムシ類・ミカンハダニの防除をしていない場合は、マシン油乳剤を散布しましょう。かいよう病の発生が心配される園では、3月の発芽前に防除を行います。越冬病斑が見られる場合は、剪定時に罹病部分を剪除して園外に処分してください。また、ICボルドー66Dとマシン油乳剤は、散布間隔を14日程度空けてください。

- ・ かいよう病 ICボルドー66D 60倍
- ・ ミカンハダニ、カイガラムシ類 マシン油乳剤(97%) 60倍



果樹林産センター  
小杉 真啓